

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08195800 A**

(43) Date of publication of application: **30 . 07 . 96**

(51) Int. Cl

H04M 1/272
B42D 15/02
G06K 7/00

(21) Application number: **04354379**

(22) Date of filing: **26 . 11 . 92**

(71) Applicant: **MATSUTANI HIROYA**

(72) Inventor: **MATSUTANI HIROYA**

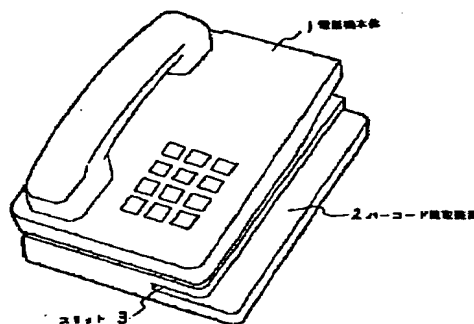
(54) **TELEPHONE SET WITH BAR CODE READER
AND NAME CARD WITH BAR CODE**

(57) Abstract:

PURPOSE: To facilitate talking only by confirming the opposite party of speech without making any entry mistake and confirming the telephone number on each occasion.

CONSTITUTION: A bar code reader 2 mounted on a telephone set 1 reads a telephone number subject to bar code processing in place of a conventional dial operation to attain the phone call. Furthermore, a bar-code telephone number is printed on or stuck on a name card and the name card is inserted to a slit 3, in which the bar code reader reads the telephone number. Furthermore, the bar code stuck on the name card is detached and stuck on an address directory or the like.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-195800

(43) 公開日 平成8年(1996)7月30日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 1/272				
B 4 2 D 15/02	5 2 1			
G 0 6 K 7/00		U 7623-5B		

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-354379

(22) 出願日 平成4年(1992)11月26日

(71) 出願人 593011704

松谷 博也

広島県佐伯郡能美町鹿川2086番地

(72) 発明者 松谷 博也

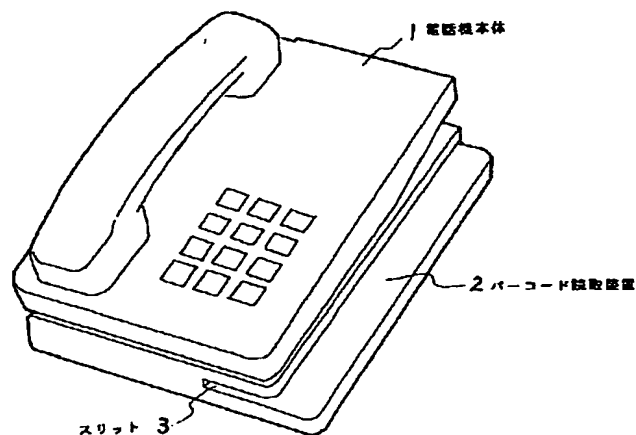
広島県佐伯郡能美町鹿川2086番地

(54) 【発明の名称】 バーコード読取装置附属電話機およびバーコード添付名刺

(57) 【要約】 (修正有)

【構成】 電話による通話において、従来のダイヤルに代わって電話番号をバーコードとしたものを、電話機1に取付けたバーコード読取装置2で読取らせて通話を可能にする。また、名刺に電話番号をバーコード化したものを印刷又は貼付けて、バーコード読取装置で読取らせる。さらに、名刺に貼付けたバーコードを剥離して住所録等に貼付けられる。

【効果】 入力間違いもなく、その都度電話番号を確認せずに、通話相手の確認のみで容易に通話できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話機にバーコード読取り装置を附属させ、該読取装置で得た数値信号を電話機に入力して通話可能としたことを特徴とするバーコード読取装置電話機。

【請求項2】 名刺の表面又は裏面の一部に電話番号の数字に該当するバーコードを印刷したことを特徴とするバーコード添付名刺。

【請求項3】 裏面に剥離の容易な糊を付着させたバーコードシールを貼付けてなる請求項2記載のバーコード添付名刺。

【発明の詳細な説明】

【0001】本発明は、電話機にバーコード読取装置を附属させて、容易かつ迅速な通話を可能にしたバーコード読取装置附属電話機およびバーコード添付名刺に関するものである。

【0002】

【従来技術】従来バーコードを利用した商品類の分類および価格等の表示読取りが行われている。一方電話機においては、ダイヤル式電話機か、プッシュ式電話機にかざられており、ダイヤル式、プッシュ式とコールの遅速はあるが、いずれにしても手指によって番号を確認しながらダイヤルしなければならない。このために番号の読み違い、あるいは押し違い等で間違い電話となり幾度も掛け直さなければならないなど、面倒さと時間の無駄が同居しているのが現状である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】解決しようとする問題点は、手指によるダイヤル通話であるために番号間違い等による間違い電話となったり、時間を要する点である。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、間違い電話をなくすると共に、ダイヤル時間の短縮及び簡便性を向上させるために、電話機にバーコード読取装置を附属させる。また前期の読取装置をより有効に利用する手段として、名刺に電話番号に該当する数字のバーコードを印刷又は貼り付けることにより簡便性、迅速性の向上を実現した。

【0005】

【実施例1】図1は、本発明装置の1実施例の斜視図であって、1～5は、図2と同様である。図1において、1は電話機本体、2はバーコード読取装置、3はバーコード部を挿入するスリットである。

【0006】バーコード読取装置2は、受話器5を取り上げると自動的にスリット3内で発光してバーコードを読取るように出力している。本発明の主体は、バーコード読取装置2の電話機本体1への実装にあるので電子、機構系の説明は省略する。

【0007】一般にバーコード読取装置は、読取装置本

体を可動としたものと固定したものがあるが、本発明においては、前記バーコード読取装置2が可動式、固定式を問わないが、公衆電話機への接続、または読取りの正確度等総合的に見れば、図1に示すような電話機への固定が有利である。

【0008】そして、このバーコード読取装置2には、電話番号をバーコード化したものを印刷した名刺等を挿入して読取らせるためのスリット3が設けられている。このスリット3は垂直方向、水平方向いずれに設けても良い。そして、このスリット3の周辺には、バーコードを印刷した名刺等の挿入方向を示す矢印あるいは、簡単な説明文等を附属させる。

【0009】図2の実施例は、卓上電話機への取付けを示したものであるが、その構造取付け方法は、図1の場合と同様である。

【0010】

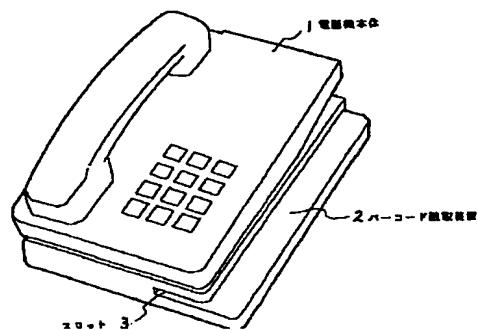
【実施例2】図3は、本発明のバーコード添付名刺の1実施例を示す斜視図である。4は名刺、5はバーコードである。名刺4に添付するバーコード5は、名刺の表面又は裏面のいずれに貼付け、または印刷しても良い。一般に用いられている糊付シールと同様に、バーコードを印刷した糊付シールとすれば、このシールを剥離して他の携帯用住所録等に貼付けて整理することが出来る。そして携帯用住所録への貼付位置、貼付方法等をバーコード読取装置で読取り易いように工夫することによって、名刺を持ち歩くことなく携帯用住所録一冊で用を足すことが出来る。

【0011】また、バーコードは名刺の印刷とは別個に印刷して裏面に糊を付着させる。また台紙は剥離性の良い光沢紙を用い、必要枚数だけ印刷しておけば良い。一方名刺には貼付位置を指定して、その部分だけ剥離性を良くするために光沢加工をしておけば、前記したような携帯用住所録への貼替えが容易となる。そして名刺に貼付けたままで使用する場合にはそのままでも良いし、使用頻度の高い名刺の場合には、強力な接着剤で貼直すことによって酷使に耐え得るものとなる。

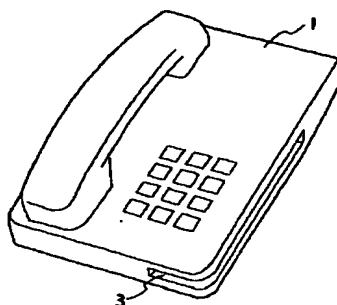
【0012】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のバーコード読取装置付電話機は、読取装置で得た電話番号の数値信号を電話機に入力してダイヤル入力と同じ作用を発揮して通話が可能であるので、番号の読違い等がなくなる。その結果、電話の掛け直し等の面倒さも解消できる。さらに、電話番号をバーコード化して、このバーコードを名刺に印刷又は貼付けるようにしたことにより、その都度電話番号の確認をすることなく、相手のみの確認で容易に通話することができる。また、名刺からバーコードを剥離して住所録に貼替えることができるので、整理が容易になると共に、名刺を持ち歩くことなく、一冊の住所録で用が足せる。

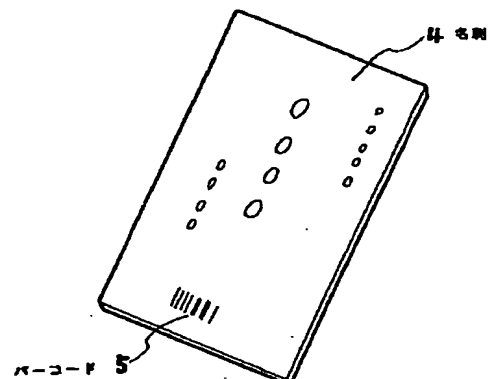
【図1】



【図2】



【図3】



【手続補正書】

【提出日】平成7年12月5日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】追加

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の斜視図

【図2】 本発明の他の実施例を示す斜視図

【図3】 本発明実施例の名刺の斜視図

【符号の説明】

1. 電話機本体

2. バーコード読取装置

3. スリット

4. 名刺

5. バーコード